

製品名: CYCS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09613**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	CYCS CYC
別名	Cytochrome c
遺伝子 ID	54205.0
SwissProt ID	P99999
免疫原	アミノ酸配列範囲 1-69 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

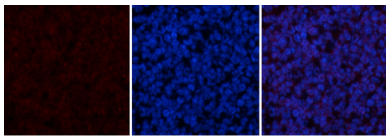
この遺伝子は、ミトコンドリアにおける電子伝達系の中心的構成要素として機能する小さなヘムタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質はミトコンドリアの内膜に結合し、シトクロム b から電子を受け取り、シトクロム酸化酵素複合体へと

伝達します。このタンパク質はアポトーシスの開始にも関与しています。この遺伝子の変異は、常染色体優性非症候性血小板減少症と関連しています。この遺伝子のプロセスされた偽遺伝子が、ヒトゲノム全体に多数存在しています。[RefSeq 提供、2010年7月]、疾患: CYCS の欠陥は、常染色体優性血小板減少症 4 型 (THC4) [MIM:612004]の原因です。血小板減少症は、血液中の血小板が比較的少ない状態です。THC4 は、非症候性の血小板減少症です。血小板減少症の臨床症状は現れないか、軽度です。THC4 は、血小板形成の異常によって引き起こされる可能性があります。機能: 電子伝達タンパク質。シトクロム c ヘム基の酸化型は、シトクロム還元酵素のシトクロム c1 サブユニットのヘム基から電子を受け取ることができます。シトクロム c は、この電子をミトコンドリア電子伝達系における最終的なタンパク質キャリアであるシトクロム酸化酵素複合体に伝達します。機能: アポトーシスにおいて役割を果たします。Bcl-2 ファミリーの抗アポトーシス因子の抑制、またはプロアポトーシス因子の活性化は、ミトコンドリア膜の透過性を変化させ、シトクロム c を細胞質へ放出します。シトクロム c が Apaf-1 に結合するとカスパーゼ 9 が活性化され、他のカスパーゼを活性化することでアポトーシスが促進されます。オンライン情報: Life shuttle - 2006 年 11 月号 76, PTM: サブユニットごとに 1 つのヘムグループを結合します。類似性: シトクロム c ファミリーに属します。、

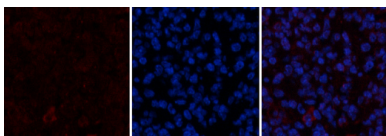
研究分野

p53; アポトーシス阻害; ミトコンドリアアポトーシス; アポトーシスの概要; アルツハイマー病; パーキンソン病; 筋萎縮性側索硬化症 (ALS); ハンチントン病; がんの経路; 大腸がん; 小細胞肺がん; ウイルス性心筋炎;

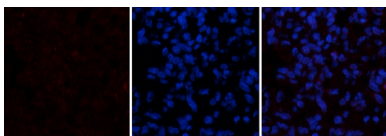
画像データ



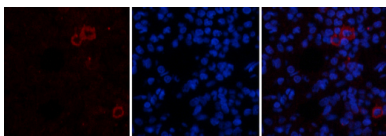
マウス脾臓組織の免疫蛍光染色。1, CYCS ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



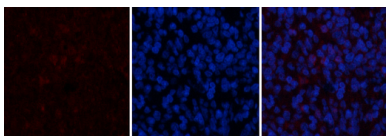
マウス脾臓組織の免疫蛍光染色。1, CYCS ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



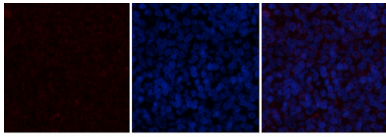
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, CYCS ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



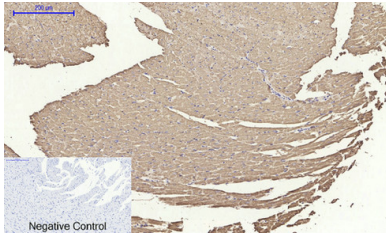
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, CYCS ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



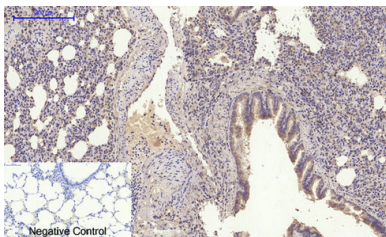
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, CYCS ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



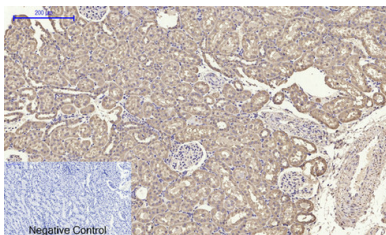
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, CYCS ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



パラフィン包埋ラット心臓組織の免疫組織化学染色。1. CYCS ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット肺組織の免疫組織化学染色。1. CYCS ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学染色。1. CYCS ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。